

2017年05月03日~04日 常念岳~大天井岳~燕岳、表銀座縦走

参加メンバー：K, W

予定していた岳沢での雪上訓練が中止となり、代替案として表銀座縦走をして来ました。

1日目：

常念岳日帰り組に穂高駅にてピックアップしてもらい、一ノ沢登山口からスタート。一ノ沢から右手に伸びる夏道はまだ使用出来ず、常念小屋までは沢筋を歩きます。雪崩れの跡が多く、沢筋の怖さを物語っていました。常念乗越の下部までは、日帰り組に同行していましたが、さすがに荷物の差があるせいか付いて行けなくなり失速。日帰り組が先行する中、常念小屋に荷物をデポし、常念岳山頂を目指します。常念小屋からは夏道が広がり、岩場を登ります。常念岳山頂直下で折り返してきた日帰り組と合流し、Tさんから差し入れのキュウリをいただきました。とても美味しかったです。お昼頃には常念小屋に戻れ、大天荘まで行く時間は十分ありましたが、予定通り常念小屋のテント場に幕営しました。さすがGWということでしょうか、夕方頃にはテント場は空きが無く、テント場の外へテントが溢れていました。

2日目：

予定より1時間ほど早く出発し、大天井岳を目指します。ほとんどのパーティーが蝶ヶ岳方面へ向かう中、大天井岳へ行くパーティーは3パーティーほどでした。風もなく、穏やか過ぎる稜線を通り、縦走路はほとんど夏道が出ていました。大天荘には冬季小屋が設置されており、まだまだ雪に覆われていました。問題となる大天井岳山頂からの下降ですが、トラバースはせず直に下降出来ました。燕山荘が近づくにつれ、常念岳への縦走者が増えます。大下り手間のピークには数えきれない人がおり、スレ違いに時間を要しました。燕山荘近くで夏毛と冬毛のまだら模様の雷鳥に会う事も出来ました。翌日からの天気不安定なため、その日の内に下山し、タクシーにて穂高駅に戻りました。

[コースタイム]

1日目：

登山口(5:30発)～常念小屋(10:00、大休止)～常念岳山頂基部(11:35)～常念小屋テント場(12:05着、幕営)

2日目：

常念小屋テント場(3:50発)～大天井岳山頂(7:20着)～燕山荘(11:20)～中房温泉(14:10着)



常念岳山頂



テント場からの夕暮れ



大天井岳山頂



燕岳への表銀座縦走路